

令和3年7月19日

第2学年の保護者の皆様

苫小牧市立明倫中学校長 遠藤 玲

令和3年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月20日（火）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和3年4月20日（火）

(2) 調査対象

市内中学校第2学年

(3) 検査内容等

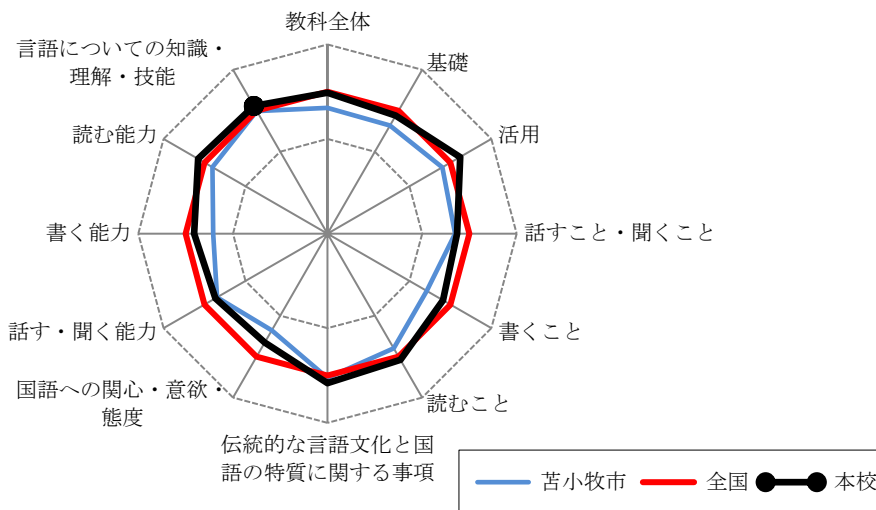
① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）

② 全国学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



② 考察

【全体的な結果について】

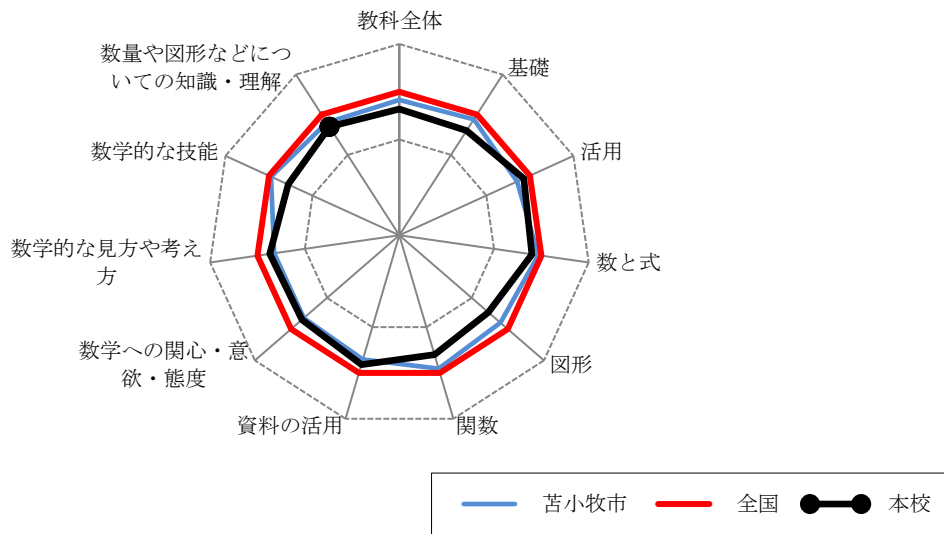
- ・「活用」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」などにおいて、全国平均・苫小牧平均を上回っている。また、教科全体としても全国平均とほぼ同等である。
- ・問題の内容では「作文」、領域では「話すこと・聞くこと」、観点では「話す・聞く能力」に課題があると言える。

【今後の方策】

- ・国語科の授業では、読んだり書いたりするための基礎・基本となる語句や語彙の量を増やしていくことで言語についての知識や技能を高める。「作文」については、短い文章を書くことから始め、徐々にわかりやすい長い文章をかけるように段階を踏んで学習を進める。「話す・聞く」については、日頃の授業の中から意見交流などの場面を増やして、改善を図る。

(2) 数学科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



② 考察

【全体的な結果について】

- ・いくつかの項目で苦小牧市平均を上回っているものの、全国平均と比較するとすべての項目で下回っている。ただ、活用はおおむね良好な状態である。
- ・問題の内容では「空間図形」と「関数」、観点では「数学的な技能」に課題があると言える。

【今後の方策】

- ・数学科の授業では、小学校で習った内容と関連付けて、基礎的・基本的な事項を身に付けさせることを重点的に取り組む。「図形」と「関数」については、既習事項とこれから学ぶことを関連づけ、知識・技能として身につくように支援していく。また、「数学的な技能」については、学んだ「知識」を活用する場面を多く取り入れることにより学習を定着させる。また、習熟度での授業を設定することで着実に学習内容が身につくように授業を進めていき、学力向上を図る。